ＺＳＸ－１工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**



平場：ＺＳＸ－１工法（通気緩衝工法　換算膜厚３.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 各種プライマー※１ | ※１ |
| ２ | 自着シート | １.０m |
| ジョイントテープＴＭ | ※２ |
| ＤＦメッシュテープ | ※２ |
| ３ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ | ２.０㎏ ※３ |
| ４ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ | １.９㎏ ※３ |
| ５ | 各種トップコート※５ | ※５ |

立上り：ＺＳＸ－２Ｌ工法（密着工法　メッシュ入り　換算膜厚２.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 各種プライマー※１ | ※１ |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ 立上り用 | ０.４㎏ |
| ＬＳメッシュ | １.１m |
| ３ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ 立上り用 | １.１㎏ ※４ |
| ４ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ 立上り用 | １.１㎏ ※４ |
| ５ | 各種トップコート※５ | ※５ |

※１　下地の種類によりプライマーの種類と塗布量が異なります。

※２　現場の状況により異なります。

※３　公共建築標準仕様書の適用では、１工程あたりの使用量を２.６㎏（２㎜分）を上限として変更することができ、Ｚｅｒｏ－１専用促進剤を添加しない場合は２.０㎏（１.５㎜分）を上限とします。

※４　公共建築標準仕様書の適用では、１工程あたりの使用量を１.５㎏（１.２㎜分）を上限として変更することができます。

※５　使用するトップコートの種類により塗布量が異なります。

・使用するプライマー、トップコートは使用材料一覧から現場に適した材料を選定してください。

**使用材料一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| ＤＳプライマー・エコ | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| 層間プライマーE | １４㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| オープライマー | １６kg／ペール缶 | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂  プライマー（水系） |
| 主　剤　８kg／袋 |
| 硬化剤　８kg／袋 |
| ＵＳウレタンプライマー | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（溶剤系） |
|
|
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂  プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| 層間プライマーJ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形ウレタン樹脂  プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| Ｗ－１ | ２０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | HGコート用2成分形  エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤１０kg／缶 |
| 硬化剤１０kg／缶 |
| 自着シート | １ｍ×１５ｍ／巻 | ‐ | 自着層付  改質アスファルト系  通気緩衝シート |
| ｔ＝接着部　１.８㎜ |
| ｔ＝非接着部１.１㎜ |
| ジョイントテープＴＭ | １００㎜×５０ｍ／巻 | ‐ | ＰＥＴフィルム付  ガラスメッシュテープ |
|
|
| ＤＦメッシュテープ | １００㎜×５０ｍ／巻 | ‐ | ガラスメッシュテープ |
|
|
| ステンレスベントＮ | ２個／箱 | ‐ | ステンレス製脱気筒 |
|
|
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１Ｓ | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
|
|
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１Ｓ 立上り用 | １８㎏／缶 ８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材立上り用 |
|
|
| ＬＳメッシュ | １.０４ｍ×１００ｍ／巻 | ‐ | ガラスメッシュ |
|
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| ＤＳトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| ＡＳトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルシリコン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| オートップ・ワン | １５㎏／缶 | １成分形 | 1成分形アクリルウレタン系トップコート（水系） |
| （高反射色有） |
| 塗布量0.15㎏/㎡×2回塗り |
| ＳＱトップ・ゼロ | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系）速乾タイプ |
| （高反射色有） | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| フッ素スーパートップ・ゼロ | １０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形フッ素樹脂トップコート（弱溶剤系） |
| （高反射色有） | 主　剤　４kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　６kg／缶 |
| ＨＧコート | ２０㎏／缶 | １成分形 | 1成分形無機質調アクリルシリコン樹脂トップコート（水系）  厚塗り高耐久保護仕上げ |
| （高反射色有） |
| 塗布量 平場：0.6㎏/㎡×2回塗り 立上り：0.5㎏/㎡×2回塗り |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：ＺＳＸ－１工法 | 立上り面：ＺＳＸ－２Ｌ工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
| 墨出し | |
|  |  |
| 各種プライマー塗布 | |
|  |  |
| 自着シート張り  シートジョイント処理  シート端末処理 |  |
|  |  |
| ステンレスベントＮ取付け |  |
|  |  |
|  | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ  立上り用塗布  ＬＳメッシュ張り |
|  |  |
|  | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ  立上り用塗布（１層目） |
|  |  |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ塗布 （１層目） |  |
|  |  |
|  | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ  立上り用塗布（２層目） |
|  |  |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ塗布 （２層目） |  |
|  |  |
| 各種トップコート塗布 | |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 墨出し |
| 立上り入隅部より５０㎜離し、正確に行う。 |
| ２ | 各種プライマー塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、各種プライマーをローラー等の工具で規定量を均一に塗布する。 |
| ３ | 自着シート張り（平場） |
| 自着シートの離型紙を剥がしながら突付けで張る。  シートは、総てパラペット・役物等より５０㎜離して張る。  １本目のシートは、予め墨出ししたラインに合わせ、出来るだけ正確に手転圧で張り込んでいき、２本目からは１本目のシートの端部に合わせ、長手シートジョイントは３～５ｍｍ程度離し、出来るだけ正確に手転圧にて張り込んでいく。  自着シートを張付け後、ハンドローラー等で全面を均一に転圧する。  自着シートのジョイント（長手・短手）処理は、ジョイントテープＴＭを張付け転圧する。  自着シートの端末部は、全てＤＦメッシュテープを張付け転圧し、エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ立上り用で上塗りを行う。  翌日以降に次工程の作業を行う場合は、ＤＦメッシュテープ及びジョイントテープＴＭ上にウレタン立上り用０.４㎏／㎡を段差が出ないように塗布し雨仕舞を行う。 |
| ４ | ステンレスベントＮ取付け |
| ステンレスベントＮを所定の位置の床部に取付ける。  シートのくり抜きは素地が露出するまでとし、くり抜く大きさは１００ｍｍ角程度とする。 |
| ５ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ塗布（１層目）（２層目） |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓをコテ・ゴムベラ等の工具を用いて１層目２.０㎏、２層目１.９㎏、合計３.９㎏／㎡を均一に塗布する。  （公共建築標準仕様書の適用では、１工程あたりの使用量を２.６㎏（２㎜分）を上限として変更することができ、Ｚｅｒｏ－１専用促進剤を添加しない場合は２.０㎏（１.５㎜分）を上限とする。） |
| ６ |
| ７ | 各種トップコート塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコートを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ８ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

**立上り**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 各種プライマー塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、各種プライマーをローラー等の工具で規定量を均一に塗布する。 |
| ２ | ＬＳメッシュ張り |
| 立上り・各基礎等を、補強布の下塗りとして、エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ 立上り用をコテ・ゴムベラ等の工具を用いて０.４㎏／㎡を均一に塗布する。その後、補強布ＬＳメッシュを重ね幅５０㎜以上ラップさせて張付ける。  自着シートとのラップ幅は１００㎜以上重ねる。 |
| ３ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓ 立上り用塗布（１層目）（２層目） |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｓをコテ・ゴムベラ等の工具を用いて１層目１.１㎏、２層目１.１㎏、合計２．２㎏／㎡を均一に塗布する。  （公共建築標準仕様書の適用では、１工程あたりの使用量を１.５㎏（１.２㎜分）を上限として変更することができる。） |
| ４ |
| ５ | 各種トップコート塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコートを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ６ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

改定：２０２５年１１月

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |